

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科名 ファッションテキスタイル科1年	単位	4単位
科目コード 201100	科目名 ウィービング基礎演習	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表)： 中島(藤本)桃香	共同担当者：
--------------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期は三原組織を中心にサンプル製作を通じ、織物の構造を理解し、製作に必要な知識、技術を習得する。

前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由製作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

## 【授業計画】

課題1：三原組織サンプル製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。 製作したサンプルを使用し、組織図についての講義、演習。 .....演習 10コマ
課題2：組織サンプルの製作	各自木枠にて製織。 色々な織り組織のサンプル製作し、風合いの違いを考察。 .....演習 6コマ
課題3：マフラー製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。 .....演習 12コマ 糸染めから企画・設計・製織まで製織。 .....講義 4コマ
課題4：自由製作	各自卓上織機にて製織。 服地・装飾品に使う織り布の企画・設計・製織までを実習。 .....演習 18コマ
課題5：厚地織物	各自木枠にて製織。 ノットティング・綴れ織りのサンプル製作。 .....講義 6コマ

## 【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価＝実技課題作品提出及びレポートの提出

主要教材図書 手織りの教科書 グラフィック社

参考図書 ハンドウィービング（手織りの実習） 文化出版

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

特徴：糸から生地になっていく過程を実習により理解する。

担当教員：文化服装学院ファッションテキスタイル科卒業。

手織りで作品を作ることと並行して手染めの革製品を製作・販売する個人ブランドJake Amelieを設立。

記載者氏名 中島(藤本)桃香

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科名	ファッションテキスタイル科 2年	単位	4 単位
科目コード	22020	科目名	テキスタイルクリエイション II	授業期間	通年

担当教員(代表)： 宇田川泰裕	共同担当者： 玉田愛海
-----------------	-------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインやアイデアを実現する。目的を実現するための技術を個々が学ぶ中で、その達成のために様々な実験を行い、知識や技術を学ぶ。各自製作した作品の経験を共有し、テキスタイル表現の多様性の見識を深め、見る目を養う。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### <前期授業> オリジナル製作

1. 企画を立てる (講義・実習内にて)
2. 企画プレゼンテーション
3. サンプル製作
4. 制作プレゼンテーション
5. 本製作
6. 完成プレゼンテーション

### 講義・実習

1. 反応染料によるプリント
2. 摺染設備の使用方法
3. 顔料によるプリント色合わせ

### <後期授業> オリジナル製作

1. 企画プレゼンテーション
  2. 素材製作 本製作
  3. 修了プレゼンテーション
- 
1. 展示会見学
  2. 各種工場見学

### 講義・実習

1. 反応染料の無地染め
2. 顔料抜染
3. 各種顔料プリント
4. 塩縮
5. リップル
6. 反応染料防染プリント

## 【評価方法】

各実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出席率・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 自由な発想でのテキスタイルクリエーションを校内の設備を活用して行う。

奥田染工場 企画製造。多種の染色技術を保有すると共に、テキスタイルを中心とした生産及び企画、全国の産地と連携したものづくり、メディア制作等を行っている。

記載者氏名 宇田川 泰裕

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA3	科名 ファッションテキスタイル科	単位 2 単位
科目コード	科目名 テキスタイル商品企画	授業期間 通年

担当教員(代表) : 宮本英紀	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ストール作りに必要な素材の知識や、即戦力になる応用的な織組織を学ぶ。  
グループに分かれてブランドを立ち上げ、ストールを企画して仕上げ、プレゼンを行う。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
様々なストール製品に触れる	講義	1
素材・織物の立体性・織組織等の学習	講義	7
各自織組織考案・織られた生地に触れる	講義	5
ブランド立ち上げ・ブランドコンセプト考案	グループ活動	3
ストール企画・試作	グループ活動	7
ストール製作	グループ活動	2
ストールプレゼン	グループ活動	1

【評価方法】

S～C・F評価 20%、授業姿勢 80%。

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 ストールサンプル・生地サンプル等

授業の特徴と担当教員紹介

織物を立体として捉え、応用的な知識を得て商品作りに活かす授業。

宮本英紀：織物工場で6年間働いた後、文化・ファッショントキスタイル研究所の研究員となる。

記載者氏名 宮本英紀